



令和4年度 猪名川町立猪名川小学校



学力向上プラン

学校教育目標 「人と心をむすび、志をもって未来を拓く子どもの育成」

めざす児童像

- 自分の良いところに気づき、他者の個性を尊重できる子ども
- 自分の言葉でしっかり話し、人とつながれる子ども
- 社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓こうとする子ども

学力向上プラン 1

～知識・理解・技能などの基礎・基本の確実な定着に向けて～

○朝学習

【月曜・火曜・水曜】8:20～8:30

漢字や計算のドリル学習、学習プリント、タブレットドリルなど学年や学習内容にあわせて取り組む。

○朝読書

【木曜・金曜】8:20～8:30

自由読書や図書ボランティアによる読み聞かせの実施。

○個に応じた指導の充実

高学年の教科担任制や個々の学習進度に合った少人数授業、個別の学習指導など、子どもの意欲を大切にきめ細やかな指導の実践。

○わかって、楽しい授業の実践

- ・わかって楽しい授業・やる気が起る授業を実践する。
- ・授業のユニバーサルデザイン化を推進する。
- ・タブレット等のICT機器を効果的に活用する。



○いなぼう学習タイム

- ・放課後の時間を活用して、個別補充学習を実践する。
- ・放課後学習担当教員と学習サポーターが連携して指導にあたり、基礎基本の定着を図る。

令和4年度の「学力向上プラン」を以下のとおり定め、本校における全ての教育活動を通じて、全教職員が一丸となって全校児童の学力向上に取り組みます。

「学力」に係る本校の課題

☆ 近年の学力調査の結果をもとに本校児童の正答率を比較すると、国語・算数の基礎・活用等、全般においてやや低めであり、以下のような傾向にある。

【国語】

◆「読むこと」の領域において、筆者の意図をとらえながら読み、自分の考えをまとめて書く力に課題がある。

◆「書くこと」の領域において、話を引用して詳しく書き直したり、指定された字数の文を書いたりする力に課題がある。

【算数】

◆資料の特徴を解釈し答えを導き出す方法や求め方を説明する問題に課題がある。

☆全体を通して、問題を読み取り自分の考えをまとめる思考力・判断力、それを文に書き表す表現力を身につけることが重要である。

【学校生活および学習習慣】

- ◆自分の良いところを認める自己肯定感を高めたい。
- ◆家で学校の授業の予習や復習、読書をしない児童の割合が高く、1日当たりの勉強時間を増やしたい。
- ◆相手の考えを受けとめ、自分の考えを伝える「話し合い活動」を充実させ、互いを認め合う学級風土を構築したい。

学力向上プラン 5

～「家庭学習」の充実に向けて～

○「家庭学習の手引き」により、家庭学習時間の目安を設定する。家庭と連携して宿題以外の学習にも取り組み、学習の習慣をつけさせる。

（目安：低学年30分+α、中学年45分+α、高学年60分+α）

- 全学年、自主学習「チャレンジノート」に取り組み、主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。
- 新聞や図書館の活用。

学力向上プラン 2

～「言語活動」の充実に向けて～

○読書教育の充実

- ・朝の読書タイム
- ・授業における図書資料の活用
- ・「読んでみよう本」の作成、活用
- ・年1回1週間の「家読週間」の設定
- ・年2回の「読書宿題の日」の設定
- ・図書ボランティアによる本の読み聞かせ



○「書くこと」に関する活動の充実

- ・「作文」課題の実施
- ・各学年の発達段階に応じた「書く力ドリル」の活用

学力向上プラン 3

～思考力・判断力・表現力、考える力・活用する力の育成に向けて～

- 各教科において、「知りたい」等、児童の主体的な思いを重視し、「気付く・発見する」「つかむ・見通す」「追及する」「まとめる」「生かす・伝える」活動を取り入れた授業を展開する。
- 各教科で体験的な学びを通して、課題解決的学習に取り組み、表現力や活用する力を養う。

学力向上プラン 4

～学習基盤の確立に向けて～

- 授業規律の徹底（学習準備・挨拶・姿勢・聞く態度）
- 授業開始終了時刻の徹底
- 学習集団の認め合い・学び合い